

【音楽科の目標】
(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付けるようにする。
(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

学習内容(予定時間数)

一学期（16）	二学期（20）	三学期（13）
【4月～5月】 「my voice」（2） 「校歌」（3） 「主人は冷たい土の中に」（2）	【8、9月～10月】 合唱コンクール課題曲・自由曲練習（6） 指揮法：基礎練習（2）	【1月】 卒業式歌練習（3） ギター演奏（2）
【5月～6月】 イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう（2） 「春」～第一楽章～（2） 楽譜の読み方 階名・音名・音符・休符・楽譜が読めるように仕組みを学ぶ。（2）	【10月～11月】 「魔王」（3） 「赤とんぼ」（3）	【2月】 楽典：強弱などの音楽記号を学ぶ（2） 卒業式歌練習（3） 第4回定期テスト（1）
【6月～7月】 合唱コンクール課題曲練習（2） 第1回定期テスト（1） 1学期は ※実技テスト、提出物、授業観察、定期テスト 小テストで評価	【12月】 ギター演奏（4） 箏曲「六段の調」（1） 第3回定期テスト（1） 2学期は ※実技テスト、提出物、授業観察、定期テスト 小テストで評価	【3月】 卒業式歌練習（2） 3学期は ※実技テスト、提出物、授業観察、定期テスト 小テストで評価

評価の観点と規準（各観点の割合はすべて達成率100%で統一する）			
	評価の観点	評価の方法・資料	評価の基準のポイント、アドバイス
I	<知識及び技能> 各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。	・定期テスト ・歌唱テスト ・楽器演奏 ・ワークシート	・定期テストの知識及び技能に関する問題において、達成率の評価。 ・歌唱テストに関して声量、歌詞や音程が正確か、姿勢、などにおいて評価の観点とする。 ・楽器演奏に関して、奏法、指使い、姿勢、音程において評価の観点とする。 ・ワークシートにおいて知識理解に関することについて場面ごとに採点。
II	<思考力・判断力・表現力等> 各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。	・定期テスト ・歌唱テスト ・楽器演奏 ・ワークシート	・定期テストの思考・判断力及び表現力に関する問題において、達成率の評価。 ・歌唱テストに関して発声、リズムが正確か、表現（強弱）、において評価の観点とする。 ・楽器演奏に関して、リズム、表現（強弱）、テンポ感、において評価の観点とする。 ・ワークシートにおいて思考力・判断力・表現力に関することについて場面ごとに採点。
III	<主体的に学習に取り組む態度> 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 [平常点] ・各実技テストにおける演奏中または歌唱中の態度	[全教科共通] ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。 ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 [平常点] ・実技テストに関して演奏・または歌唱中の態度を採点。